



地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→

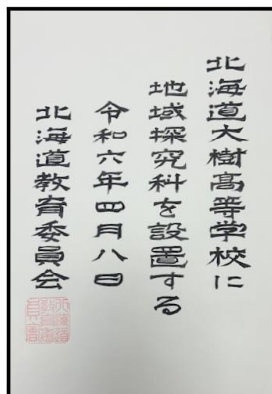


【令和6年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動及び主体的・対話的で深い学びのある授業により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

普通科の地域探究科設置宣言

4月8日(月)の13:50から、令和6年度の入学式が行われました。今年度の新入生から普通科の地域探究科に学科転換したため、入学式前に、本校OBである喜多龍一道議会議員や黒川町長など多くの来賓の方々が御参列の中、北海道教育委員会から十勝教育局の新山局長から、地域探究科設置宣言が行われました。これまで地域探究科への学科転換に向け、準備してきたところですが、教職員一同、より一層の大樹高校の魅力向上に尽力して行きたいと考えています。



1 学年宿泊研修

5月9日(木)、10日(金)に、ネイパル足寄で1学年宿泊研修を行いました。

1日目は野外炊飯からスタートです。火の管理が大変だったけれど、みんなで作ったカレーはおいしかったですね。カレーを食べた後、トランプを使ったゲームでグループの親睦を深めました。最初は少しぎこちなかったけれど、だんだん盛り上がり行きましたね。その後、グループごとにウォークラリーを行いました。地図を頼りに山の中を50分ほど散策しました。景色や様々な動物を見ることができたでしょうか。



2日目はCST(コミュニケーションスキルトレーニング)を行いました。アイスブレイクの後、クラスみんなにインタビューをして回るゲームを行いました。先生方も含めた全員にインタビューできた人もいましたね。その後、生徒企画のミニバレー・ドッジボール、SDGsをテーマにした探究活動を行いました。楽しむ場面は楽しむ、真剣に考える場面は真剣に考えるというメリハリがついていましたね。よく頑張りました。最後に、道の駅おとふけでお買い物をして宿泊研修は終了しました。





地域とともに

北海道大樹高等学校
〒089-2155 広尾郡大樹町緑町1番地 HPのQRコード→
Tel 01558-6-2063、6-2868
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>



【令和6年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動及び主体的・対話的で深い学びのある授業により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

科目「保育基礎」の授業より

3年択科目「保育基礎」では、「子どもの成長と遊び」を大切に取り上げ学習を進めています。春になると緑が少しずつ濃くなり、色とりどりの花が咲き始め、外遊びがますます楽しくなる季節となります。タンポポが辺り一面に咲き乱れ黄色の絨緞になるのはとてもきれいですね。そのタンポポを使った「花かんむり」を作ったことがない!!という生徒がとても多く、5月22日、学校の敷地内での自然と遊びをテーマに実習しました。

はじめは、要領が得られず苦戦する生徒もありましたが、すぐに慣れ、かわいらしいタンポポ冠ができました。「子どもに返った気がする～」と大はしゃぎする生徒たち。「先生は保育園の先生みたい!」などと楽しい会話をしながらの取り組み。「伝承遊び」を考える上でも、とても大切な取り組みとなります。



室蘭工業大学連携授業 清水一進教授の講演

6月4日(火)、本校のSTEAM教育の一環として、室蘭工業大学副学長・ものづくり基盤センター長の清水一進教授が来校し、1学年に「工学について-自動車工学概論-」、2学年に「工学の最先端-ロケット工学概論-」と題して、講演をしていただきました。工学が身の回りにあるあらゆるモノや仕組みに関わっていること、宇宙産業がどのように私たちの生活と繋がっているのか、ロケット開発との関わりから様々な分野の研究の集合がロケットや自動車開発につながっていることなど、様々な学びが生活の中で活かされていることを深く理解することができました。

また、社会人としての「生き方・在り方」についてや「ブランディング」や「縁」の大切さなど、キャリア教育の視点からもお話いただき、生徒にとってとても有意義な時間となりました。清水教授、ご講演ありがとうございました。





地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町緑町1番地 HPのQRコード→

Tel.01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>



【令和6年度の指導上の重点目標】

1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。

2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動及び主体的・対話的で深い学びのある授業により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

台湾からライチが届きました

見学旅行先である台湾から、旬のライチがたくさん送られてきました。3年択科目「保育基礎」では、「子どもの成長と遊び」を大切に取り上げ学習を進めています。昨年度、数年ぶりに再会した台湾見学旅行の際、大樹町と友好協定を結んでいる、「大樹区(だいじゅく)」を訪れ、パイナップル収穫体験の実施や、区役所の訪問をしました。その際に、先方から「旬の時期になったら、学校にライチを送ります」と言っていたので、本当に今回、現地からライチが送られてきた・・・という訳です。

送られてきた量、なんと驚異の6キロ!給食の時間、生徒・教職員共に、大樹町のお祭りで実施している「ライチの種飛ばし大会」の時に使っているライチに比べて、種は小さく果肉が多い上に瑞々しいことに感動しながら、台湾の味を楽しむことができました。また、生徒会執行部の4人が、大樹町役場を訪れ、大樹町の黒川町長にライチの送付の報告と、送られてきたライチを提供しました。



大高祭、地域探究学習の発表会を一般公開します

7月6日(土)、7日(日)の2日間、大樹高校の学校祭「大高祭」を開催します。

「大樹町のお祭りの一つにしたい」という生徒会執行部の思い、また、地域探究科に学科転換し「地域と連携した学校づくり」の推進のため、コロナ禍後初めて、一般の方々にも開放する予定です。

キッチンカー3台が来て、当日購入できる軽食や飲み物などを提供予定です、生徒による縁日やパフォーマンスが実施されます。

また、7月18日(木)10:00~12:00、本校体育館において、3年生が総合的な探究の時間で取り組んでいる「地域探究学習」の成果発表会を行います。

現在、グループ毎に地域の課題や実現したいことについて、テーマを設定しフィールドワークを行っているところです。

こちらも一般公開しますので是非来校して、生徒の活動をご覧ください。

第72回 大高祭 in 大樹

7/6 イベント タイムテーブル

時間	内容	時間	内容
12:00	大高祭 スタート	11:00	大高祭 スタート
12:00	オープニング	11:00	練習
12:30	音楽会 演奏	11:30	・各学年 出し物
13:00	有志ステージ	12:00	・高道1部
13:30		12:30	・サイエンス教室1部
14:00	有志ステージ	13:00	練習
14:30		13:30	・各学年 出し物
14:50	大高祭 終了	14:00	・高道2部
		14:30	練習
		15:00	・各学年 出し物
		15:30	・サイエンス教室2部
		16:00	エンディング
		16:00	大高祭 終了

※ 練習会場 南校・サイエンス教室は11時からネット引き換えを行います。

大樹高校の新しい挑戦です!是非皆さん来てください!

大樹高校 SNS 始めました!フォローお願いします!

【公式】TikTok 【公式】Instagram

大樹高校の新しい挑戦です!是非皆さん来てください!

大樹高校 SNS 始めました!フォローお願いします!

【公式】TikTok 【公式】Instagram



地域とともに

北海道大樹高等学校
〒089-2155 広尾郡大樹町緑町1番地 HPのQRコード→
Tel.01558-6-2063、6-2868
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>



【令和6年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動及び主体的・対話的で深い学びのある授業により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

3年選択科目「フードデザイン」の取組

6月13日、家庭科目「フードデザイン」において、本校ALTのアニーさんとキイさんにおいてプレゼンを行いました。テーマは、6グループに分かれて「日本食について」「年中行事と行事食」「食事のマナーについて」「和菓子について」「日本の文化(食以外の)について」「大樹町の紹介」をそれぞれ担当し、スライドを用いて発表しました。さらに、スピーチはすべて英語で!!これまで学んできたこと(英語、家庭)を最大限活用し、充実した内容の素晴らしい発表となりました。

発表後には、タブレットなどを使い評価のコメントを全員が入力。アニーさんからもコメントをいただきました。今後は、アニーさんから英国の食文化についてお話をお伺いし、英国料理を実習する予定です。



3年選択科目「保育基礎」の取組

6月19日、「保育基礎」(家庭科目)において、「おやじの会」の皆さんと座談会を行いました。「おやじの会」とは、その名の通りお父さんたちが主催しているもので、子どもの成長、発達に欠くことのできないさまざまな「遊び」「体験」を補償してあげるための有志の活動団体です。毎週月曜日、会員(小学生)とその保護者や有志の方々が集まって様々な活動をしています。どのお父さんも、子育てをとっても楽しんでおり、子育ても家事も協力して行うものである、また楽しいことばかりでなく大変なこともあるなど、大変貴重なお話をたくさん伺うことができました。

秋には、おやじの会の活動日に合わせ、高校生企画を行う予定です。今から、小学生たちとの交流がとても楽しみです。





地域とともに

北海道大樹高等学校
〒089-2155 広尾郡大樹町緑町1番地 HPのQRコード→
Tel 01558-6-2063、6-2868
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>



【令和6年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動及び主体的・対話的で深い学びのある授業により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

進路強化研修を実施しました

6/18、3学年では、「進路強化研修」を実施しました。生徒たちそれぞれの進路希望に合わせ、3つのコースに分かれて活動しました。それぞれが自分自身の課題と向き合い、しっかりと取り組んでいました。この先も、未来に向かって頑張りたいと思います。

【就職コース】

午前中は、外部講師をお呼びし、面接を受ける際の心構え・模擬面接の指導をしていただきました。

午後は帯広で実施された合同企業説明会へ参加し、企業の雰囲気をつかむことができました。



【専門学校コース】

午前中は、志望理由書・自己推薦文の作成・一般常識テストの指導を実施したのち、「面接試験の目的とチェックポイント」をテーマとして、外部講師の講義を受講しました。

午後は、講義を踏まえて実際に面接練習を行いました。



【大学・看護コース】

最初に「学習のスケジュール」について考える時間を設け、受験日までにはやるべきことを再確認しました。

その後は、教員との面談・学習活動・面接対策や志望理由書作成等、それぞれに必要な取り組みを考え、実施しました。





地域とともに

北海道大樹高等学校
〒089-2155 広尾郡大樹町緑町1番地 HPのQRコード→
Tel 01558-6-2063、6-2868
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>



【令和6年度の指導上の重点目標】
1 「共生」と「共創」の実現を目指す、地域と協働した学校づくりを推進する。
2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動及び主体的・対話的で深い学びのある授業により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

1 学年職業座談会を実施しました

7月11日(木)に1学年キャリアデザインで職業座談会を実施しました。

大樹町内で活躍されている職業人の方々に講師としてお越しいただき、生徒4~5名のグループに対して「仕事の内容」「どう役に立っているか」「やりがい」などを20分ほど話していただきました。

生徒は事前選択した3つの職業の話聞くことができました。座談会をとおして、仕事や働くことに対するイメージが広がったり具体的になったようです。また、普段接することがない大人の方と話す貴重な機会ということで、楽しそうに会話をしていたのが印象的でした。協力いただいた皆様、ありがとうございました。

【協力していただいた団体(50音順)】

インターステラテクノロジズ様、ケアステーションひかり様、大樹町役場様、播間建設様、Moving Inn様



3 学年「探究成果発表会」を実施しました

7月18日、3学年による「探究成果発表会」を実施しました。今年度4月より、3学年では「総合的な探究の時間」において、生徒が地域の課題や関心のある事項について主体的にテーマを設定し、仮説を立て、フィールドワークを行い、その成果を基に、自分たちの仮説を検証するといった探究活動を行ってきました。フィールドワークにあたり、大樹町内の多くの企業・事業者さん、町役場の方にも御協力いただきました。発表会においては、生徒それぞれが課題に真剣に向き合い、「理想の状態に近づくために、自分たちができること」を考え、発信することができました。

「探究活動」の一番大切なポイントは、「探究サイクルをまわし続けること」だと思います。今回の発表会を終わりとせず、これからもさまざまな課題に向き合い続け、学び続ける姿勢を大切にしたいです。多くの方にご来場いただきました。ありがとうございました。



TAIKI HIGH SCHOOL

探究成果発表会

7/18(木)

この発表会は

大樹高校3年生の『総合的な探究の時間』の成果発表会です。生徒が身近な課題や関心のある事項について、自分たちで検証した内容をもち、自身の考えや未来への展望など、各々の探究成果を発表いたします。

タイムスケジュールとテーマ↓

10:05-11:00

1. 学生が気軽に乗れるバスをつくりたい
2. 多くの観光客に行ってみようと思われるまちづくりをするには?
3. 18歳以下の遊び場について
4. 移住者を増やすためには?
5. 子どもたちの土日の移動手段

11:10-12:15

6. 大樹町の魅力を発信させたい
7. 道の駅の魅力を増やしたい!!
8. 晩成温泉にもっと来てもらいたい!
9. 安くても良い給食を提供するには
10. 子どもと一緒にMoving Inn!
11. ジェンダー(LGBTQ)への偏見や差別をなくすには?

日時: 7月18日(木)

9:45 開場

10:00 成果発表会スタート

12:20 終了予定

※終了時間は出席する可能性が異なります

場所: 大樹高校 体育館

●2階席に立ち座り、各席の観覧位置より入り口まで移動し、体育館入り口で観覧をお待ちいただきます。
●観覧が難しい方は参加費をご連絡いただく場合がございます。





地域とともに

北海道大樹高等学校
〒089-2155 広尾郡大樹町緑町1番地 HPのQRコード→
Tel 01558-6-2063、6-2868
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>



【令和6年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動及び主体的・対話的で深い学びのある授業により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

吹奏楽部オータムコンサート

9月1日、大樹町生涯学習センターのコスモスホールにて、本校吹奏楽部のオータムコンサートを開催しました。

ゲストにピアニストの原詩織さん、大樹高校OB・OGの皆さん、広尾高校の皆さんをお呼びして、総勢15名でのステージを披露しました。普段は5名で活動している吹奏楽部ですが、単独演奏、アンサンブル、ソロ演奏、合同合奏など、さまざまなプログラムをお送りすることができ、充実した時間となりました。

この演奏会を節目として、3年生は引退となります。これからの2年生の活躍にご期待ください。

ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



災害に備えて「フードデザイン」の取り組み

9月1日の防災の日に合わせて、「防災食」の学習をしています。ローリングストックの説明に始まり防災グッズの紹介まで、生活の中で必要なことを学習します。

今回は、ポリ袋クッキングの様子を紹介します。メニューは「親子丼」です。



ポリ袋に米を入れています。
米と水は、1:1(容量で)
覚えやすいですね!



鍋にお湯を沸かし、その中でご飯と親子丼の具を加熱していきます。
具は、焼き鳥の缶詰、かさ増しに高野豆腐など、長期保存が可能なもので作ります。



器は、紙で作成し、ビニル袋をかぶせたもの。
ご飯を盛り付けて、具をのせます。

合唱祭のお知らせ

恒例の大樹高校合唱祭を次のとおり実施します。是非、来場いただき生徒の姿をご覧ください。

日時: 10月4日(金) 13:35から

場所: 大樹町生涯学習センターコスモスホール

10月11日(金) 13:15から、大樹町教育の日においても合唱を披露します。





地域とともに

北海道大樹高等学校
〒089-2155 広尾郡大樹町緑町1番地 HPのQRコード→
Tel 01558-6-2063、6-2868
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>



【令和6年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動及び主体的・対話的で深い学びのある授業により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

大樹小学校との連携授業

9月5日、2年生の理科・生物基礎において、小学校と高校との連携事業の1つとして、大樹小学校1年生の生活科「いきものをさがそう」の授業に参加し、小学生のグループに高校生が入り、活動のサポートをしました。

参加した生徒からは、「子どもたちはいろいろなことに興味をもっており、私も身近なことや慣れていることに別の視点で物事を見て、新しい考えを取り入れていきたいと思った。」「『やってみなきゃわからないよ!』という子どもたちの声が聞こえたとき、失敗を恐れていた自分を恥ずかしく思ったのと同時に、『確かに』と納得してもっと挑戦しようという気持ちになった。」などの感想がありました。



災害に備えて「フードデザイン」の取り組み

1学年家庭科目「家庭基礎」において、介護体験実習を行いました。帯広コア専門学校介護福祉科の先生をお招きし、専門的な講話と実技指導をいただきました。



左片麻痺の設定で衣服の着脱を行っています



左片麻痺の設定で、杖をつく場合の体験実習です

介護は、高齢者だけを対象としたものではありません。若くても怪我や病気になることも考えられますので、必要な知識とスキルです



地域とともに

北海道大樹高等学校
〒089-2155 広尾郡大樹町緑町1番地 HPのQRコード→
Tel.01558-6-2063、6-2868
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>



【令和6年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動及び主体的・対話的で深い学びのある授業により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

「チョコレートの世界へようこそ」 明治食育講座

9月20(金)、3学年選択科目「フードデザイン」において、(株)明治より食育担当の方をお招きし「チョコレートの世界へようこそ」と題しまして講話をいただきました。チョコレートができるまでの工程や、原料であるカカオ栽培に関わることなど、幅広く盛りだくさんでお話をいただきました。今後の授業では、この講座をきっかけに、児童労働問題やフェアトレード、SDGsなども関連付けた学習を行っていきます。



「ふまねっと」体験交流

9月25日(水)、2学年家庭科目「生活と福祉」では、社会福祉協議会で行っている「ふまねっと」に参加させていただきました。「ふまねっとって何ですか?」という生徒たち。若い世代の子達には無理ありません。だからこそ、このような活動が行われていること、年齢を重ねても元気で生活できることの大切さ、そしてボランティアの方々によって成り立っていることなど多くの視点から学んでほしい内容です。高校生とのふれ合いは、参加者の方々にとって楽しいひとときになるようです。「ふれ合う」「交流する」ことは、立派なボランティア活動でもあります。

11月には「ふれ合いカフェ」開催時に再訪問し、交流する予定です。そして、卒業後、ふまねっとボランティアとして活動してくれる生徒が出てくれることを願います。



大樹高校合唱祭

10月4日(金)、大樹町生涯学習センターコスモスホールにて、合唱祭が開催されました。1年生から3年生まで、各クラスが課題曲・自由曲を演奏しました。夏休み明けからおよそ1ヶ月間と、短い期間での練習でしたが、それぞれのクラスの個性が、豊かに発揮された合唱が披露されました。クラスの発表後の全校合唱を行いました。課題曲「旅立ちの時～Asian Dream Song」が演奏され、全校生徒が一体となった、素晴らしい合唱となりました。合唱祭と併せて、生徒会執行部の認証式も執り行われ、この1年間生徒の先頭に立って働いてきた旧生徒会執行部の活動をねぎらい、新たな生徒会執行部の就任を祝う区切りの時間となりました。





地域とともに

北海道大樹高等学校
〒089-2155 広尾郡大樹町緑町1番地 HPのQRコード→
Tel 01558-6-2063、6-2868
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>



【令和6年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動及び主体的・対話的で深い学びのある授業により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

ばん馬キャラ弁コンテスト アイディア賞 受賞!!

本校3学年選択科目「保育基礎」では、子どもの食事と親の役割について学習する取り組みとして、お弁当コンテストに応募しています。栄養バランスや彩り、幼児の嗜好などをトータルに考えて、生徒一人一人が献立作成から取り組みます。「初めてお弁当を作った」という生徒もあり、作ってくれた人への感謝の気持ちがわいたり、人を思う気持ちが育ったり、大変意義のある取り組みとなっています。

こうして今年度も応募したところ、3年生の北村七海さんが見事アイディア賞を受賞しました。全国から多数の応募がある中での受賞に本人は少し驚いた様子でした。ばんえい競馬場でのイベントの中で表彰式が行われました。



1学年インターンシップ

11月7日(木)、8日(金)の2日間で、1学年インターンシップを実施しました。

「勤労や職業について理解を深め、自分の興味・関心との関わりを見つけること」「自分と実習先の業界・事業所について理解を深め、社会に出る上での課題を設定すること」を目的とし、事前学習を行った上でインターンシップに臨みました。

それぞれの事業所で、人と関わる仕事、ものを準備する仕事、事務作業などを体験することで、1つの職業の中にも様々な役割があることが理解できたと思います。働くことの大変さや人の役に立つことの嬉しさも体験できたのではないのでしょうか。

また、事業所の方やお客様など、初対面の大人とコミュニケーションを取る場面も多くありました。事前学習や自己分析では、コミュニケーションについて不安を感じている生徒が多かったのですが、場数を踏むことで成長できたのではないかと思います。

事業所の方からは「一生懸命仕事に取り組んでいます」「元気よくコミュニケーションが取れています」との言葉をいただきました。





地域とともに

北海道大樹高等学校
〒089-2155 広尾郡大樹町緑町1番地 HPのQRコード→
Tel 01558-6-2063、6-2868
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>



【令和6年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動及び主体的・対話的で深い学びのある授業により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

大樹町子育てサークル「おやじの会」との交流会

12月16日、大樹町子育てサークル「おやじの会」と本校3年「保育基礎」選択者7名とで交流会を行いました。「おやじの会」では、お父さんを中心として毎週月曜日の放課後に子どもたちと様々な遊びを展開しています。その活動の1コマとして本校生徒との交流会を企画しました。小学生の様子を知るとともに、子ども同士のコミュニケーションの取り方や大人の関わり方など、交流を通して学ぶことを目的としました。

この日のテーマは、「小学生に日本(北海道)の食文化を伝える!いもだんごをつくろう!」としました。4月に科目「フードデザイン」で行った実習内容を取り入れて、計画しました。



山盛りにできあがったいもだんごも、あっという間に完食!みたらし餡がおいしい!あんこも予想以上の人気!小学生のパワーに、高校生が押され気味でしたが、とても賑やかに楽しく実施できました。

今回、本校を2年前に卒業した生徒がおやじの会スタッフとして参加してくれました。

2年前に小学生を迎え入れる側だった生徒。その生徒が、地域の子育てボランティアに参加しているなんて、とてもステキなお話です。

将来、親になるであろう高校生。親にならなくても、子育てをサポートできる大人になって欲しい。

本校が一番大切にしている「共生」「共創」の実践につながるものとなりました。



地域とともに

北海道大樹高等学校
〒089-2155 広尾郡大樹町緑町1番地 HPのQRコード→
Tel.01558-6-2063、6-2868
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>



【令和6年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動及び主体的・対話的で深い学びのある授業により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

アントレプレナーシップ教育に関する授業を実施しました

12月24日(火)に株式会社コエルワ代表取締役CEOの阿曾沼 陽登様が来校し、2年生を対象にアントレプレナーシップ教育に関する授業を実施しました。

明るい雰囲気の中、高校生にとって身近な例を交えながらアントレプレナーシップの重要性について説明していただきました。

課題を解決する際、自分だけではなく、相手に対して理由や目的、実現したいことをしっかり伝えることの大切さや、自分の枠を超えて周りを巻き込んでいくことで課題を解決していけることなど多くのことを学ぶことができました。

来年度実施する地域探究活動や今後の人生にいかせる有意義な時間となりました。



秋山教授の宇宙教育プログラムを受講しました

昨年(2024年)の12月3日(火)、23日(月)、和歌山大学の秋山演亮(ひろあき)教授に来校いただき、宇宙教育プログラムを受講し、大樹宇宙ボランティアサークルの生徒が、講義を受けたり、一緒に話し合ったりする活動をしました。そして、町内でモデルロケットを作って飛ばすイベントを実施することを目標に、1月17日(金)の放課後は、パソコンによるWebシステムの会議で、モデルロケット製作と、打ち上げに当たっての「リスクマネジメント」について勉強しました。

1月20日(月)の放課後、再び秋山教授に来校いただき、作成したモデルロケットを無事に成功裏に打ち上げることができました。

身近にある紙や木工用ボンドで作成したモデルロケットを打ち上げることができ、打ち上げる楽しさと、作成について自信を付けた様子でした。





地域とともに

北海道大樹高等学校
〒089-2155 広尾郡大樹町緑町1番地 HPのQRコード→
Tel 01558-6-2063、6-2868
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>



【令和6年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動及び主体的・対話的で深い学びのある授業により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

卒業生講話を実施しました

1月29日(水)の4時間目、3年生選択科目「フードデザイン」で、卒業生をお招きし講話を実施しました。今回は、帯広市内のホテルでパティシエとして活躍している先輩に来ていただきました。

前半の講話では、高校卒業後の進路決定から現在に至るまでの道のり、学生と社会人との違い、失敗談や仕事に込める思いなどなどたくさんのお話をいただきました。

続いて、デコレーションケーキの仕上げを披露していただきました。職人の高い技術に圧倒される生徒たち。シーンと静まりかえり、先輩の見事な技に釘付けでした。卒業生に続き、希望生徒にも挑戦してもらいました。先輩からコツなどをわかりやすく教わり、きれいなデコレーションケーキができてあがりました。

さらに今回は、先輩からの差し入れがありました。先輩が考案し、期間限定で販売されているケーキです!とてもおいしくいただきました。

立派に社会貢献している先輩を見て、数年後の自分の姿と重ね合わせ、得るものがたくさんあった時間となりました。後輩たちには、ぜひ先輩の後を追って立派に社会貢献してほしいと願います。



モデルロケットの打ち上げを行いました

2月11日(火)の9:15~12:15、祝日で学校はお休みでしたが、大樹宇宙ボランティアサークルメンバーが、本校図書館とグラウンドにて、モデルロケットの打ち上げを行いました。サークルメンバーの他に、大樹町の協力者の林さん、航空宇宙推進室の田邊さんも来校して、お手伝いいただきました。

3月9日(日)の9:30から、大樹町の宇宙少年団のメンバー向けにモデルロケット講習会を行う予定で、その準備のため、今回モデルロケットを作成し、作り方を小学生に教えられるようにすることを目的に実施しました。2度目の作成になるメンバーもいれば、初めてのメンバーもいましたが、和歌山大学の秋山教授から提供された作り方の説明書を見ながら、それぞれ作成することができました。

